

いのことは 祈りの言葉 ~2024年平和聖日によせて~

司式者 平和の主である神さま、
主イエスは「平和を実現する者は幸いである」と言われました。

みんな 主よ、平和を実現できるように私たちを用いてください。

司式者 いのちを創造される主は、この世界を祝福されています。

みんな 主よ、憐れんでください。

司式者 私たちの社会はあなたの愛に背き、人を傷つけ、憎しみをつのらせています。

みんな 主よ、憐れんでください。

司式者 今もウクライナで残酷な攻撃が繰り返され、多くのいのちが奪われ続けています。

子どもたちや女性たちの不安と恐怖に震える声が聞こえてきます。

みんな 主よ、あなたの平和を与えてください。

司式者 ミャンマーではクーデターによる軍事政権が民衆及び支援者などを迫害しています。

徴兵制が始まり、国外逃亡する人々が出ています。

みんな 主よ、あなたの平和を与えてください。

司式者 パレスチナのガザ地区ではイスラエルによる虐殺と破壊が続いています。1948年のイスラエル

建国にさかのぼる問題に無関心であったことを反省します。また、アハリー・アラブ病院などの

被災者のために働く人々や団体が祝福されますように。

みんな 主よ、あなたの平和を与えてください。

司式者 かつて日本はアジア諸国を植民地とし、多くの人々のいのちと暮らしを踏みにじりました。

みんな その過ちを謝罪し、良い関係を築いていけますように。

司式者 琉球弧では美しい海や森が破壊され、着々と軍事要塞化が進んでいます。

これにより人々が分断されて、更なる苦しみを負わされています。

みんな 戦争や紛争に勝者はなく、何年たっても心に傷を持ち続け、眠れぬ夜を過ごします。

互いに苦しみ憎しみがつのるだけです。

司式者 核によらない世界の平和を求めて、祈ります。

79年前、広島と長崎に原爆が落とされ、日本人だけでなく、朝鮮半島などから連れてこられ、強制労働させられた人など、沢山のいのちが失われました。

みんな 主よ、あなたの平和を与えてください。

司式者 2021年、核兵器廃絶を目指す『核兵器禁止条約』が発効しました。しかし唯一の戦争被爆国であるにもかかわらず、日本政府は核保有による戦争の抑止を主張し続けています。

みんな 主よ、核のない世界を実現できるように私たちを用いてください。

司会者 今も、原爆による痛みと苦しみを抱えている方々がおられます。

さらに被爆2世、3世の苦しみ、不安は消えません。

一同 一日も早く核の脅威で人が苦しむことがなくなりますように、涙を笑顔に変えてください。

司式者 東京電力福島第一原子力発電所事故の放射能汚染によって故郷を奪われ、今も帰れない方々、放射能の不安を感じつつも、その地にとどまり生活を続ける人々があります。

みんな 苦しむ人々に寄り添うことができますように。

司式者 地震や豪雨などで、家や仕事を失っている方々があります。

みんな 希望を失っている人々に寄り添うことができますように。

司式者 主イエスは、「病人」や「罪人」とされた人を訪ね、罪を赦し、友となってくださいました。

みんな 私たちは、主イエスによって、神さまに愛されていることを知りました。

一同 主よ、あなたの招きに答えて、隣人と共に歩むことができますように。

司式者 平和を願う一人ひとりの祈りにあわせて、この祈りを主イエス・キリストのみ名によっておさげいたします。

一同 アーメン。